

**第2次南アルプス市総合計画  
後期基本計画・施策マネジメントシート**

政策No.	2	政策名	ともに生き支えあうまちの形成	施策主管課	福祉総合相談課
施策No.	9	施策名	地域福祉の充実	施策主管課長名	長谷部 裕子
施策関連課名					

**1 施策の目的と指標**

(1)対象(誰、何を対象としているのか) ※人や自然資源等	市民	(3)対象指標(対象の大きさを表す指標)	A	人口	単位	人
			B			
(2)意図(この施策によって対象をどう変えるのか)	地域でお互い様の気持ちをもって、支えあい・助けあいを実践できる	(4)成果指標(意図の達成度を表す指標)	①	地域で助けあいが行われていると感じる市民の割合	単位	%
			②	民生委員・児童委員の充足率	単位	%
成果指標設定の考え方 (成果指標設定の理由)	①	地域での助けあいの状況を示す／市民がお互い様の気持ちをもって支えあい・助けあいを実践できることが意図なので、実際にそれが行われていると感じている市民の割合を成果指標とした。				
	②	民生委員・児童委員の充足率を示す／地域の中での福祉の担い手である民生委員・児童委員が充足されていることが、地域での支えあい・助けあいにつながるため、成果指標とした。				
	③					
	④					
成果指標の測定方法 (どのように実績値を把握するか)	①	市民アンケート『地域で声かけ、見守りなどの助けあいが行なわれていると感じますか』において、「あてはまる」「ややあてはまる」と回答した市民の割合				
	②	定数に対する民生委員・児童委員数の充足率				
	③					
	④					

**2 指標等の推移**

指標名	単位	数値区分	前期基本計画					後期基本計画					
			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
対象指標 A 人口	人	見込み値					71,089						68,430
		実績値	72,305	72,018	71,880	71,602	71,370						
成果指標 ① 地域で助けあいが行われていると感じる市民の割合	%	目標値	-	-	-	-	-	38.0	41.0	44.0	47.0	50.0	
		実績値	-	-	-	36.9	40.5						
② 民生委員・児童委員の充足率	%	目標値	-	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
		実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0						
③													
④													

**目標設定の考え方・理由(可能性と必然性)**

①	地域共生社会を実現するためには、助け合いが行われていると実感できている市民が増えることが重要である。後期基本計画の最終年度(2024年)は、2025年度直前であり、目標値は肯定的回答が半数になることを目指し、50%とした。
②	全国平均及び山梨県平均(平成29年度)では、民生委員・児童委員の充足率は100%に満たず、本市でも今後、人材の確保が難しい状況になることが想定されるため、現状を維持し、どの地域も民生委員・児童委員が欠けないことを目標として、100%を設定した。
③	
④	

**3 施策の役割分担**

①市民(市民、事業所、地域、団体)の役割(住民が自助でやるべきこと、地域やコミュニティが共助でやるべきこと、行政と協働でやるべきこと)	②行政(市、県、国)の役割(協働を進めるため市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)
<ul style="list-style-type: none"> <li>「困った時はお互いさま」の心をもち、近所に困っている人がいたら、気にかけて自分ができることや近所の人と協力してできることを行う(あいさつや声かけ、ごみ拾い、草取りなど)</li> <li>各団体、組織同士(民生委員・児童委員、自治会、ささえあい協議体等)で連携を図り、地域の現状や課題を共有し課題解決に向けて取り組む</li> <li>社会福祉協議会の取り組み(第4次地域福祉活動計画に基づいた活動)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員・児童委員への適切な活動支援(活動内容、活動日数等の配慮)</li> <li>避難行動要支援者登録の周知</li> <li>社会福祉協議会等と連携を図り、地域福祉計画に基づき課題解決に向けた取り組みを推進する</li> </ul>

**4 施策の状況変化・住民意見等**

①施策を取り巻く状況変化(対象や根拠法令等は、今後(～R3年度末を見越して)どのように変化するか?)	②関係者からの意見・要望(この施策に対して住民(対象者、納税者、関係者)、議会からどんな意見や要望が寄せられているか?)
<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化、人口減少の中で、市民同士のつながりが希薄になり、地域の中での支えあいの仕組みが薄れる可能性がある。</li> <li>本市の民生委員・児童委員の相談支援活動は、高齢者に関する相談割合が増加しており、今後も増加すると予測される。【相談全体に占める高齢者に関する相談割合:43.6%(H28)⇒57.7%(H30)】</li> <li>本市の民生委員・児童委員の平均年齢は県平均よりも高く、改選のたびに上昇している。支え手側と支えられる側の高齢化により人材の確保が困難になることが懸念される。</li> <li>一斉改選時の平均年齢の推移:市65.42歳【県65.0歳】(H28)⇒市66.53歳【県65.8歳】(R1)</li> <li>「地域共生社会の実現に向けた地域福祉の推進について」(平成29年12月12日厚生労働省通知)では「誰もが役割をもち、活躍できる地域共生社会」を実現するためには、「『住民に身近な圏域』において、地域住民等が主体的な地域生活課題を把握し解決を試みることができる環境の整備」が必要との考えが示されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、少子高齢化が進む中で、支えあいの地域づくりに取り組む必要がある。</li> <li>地域の交流の機会が少なく、どこにどんな人が住んでいるか把握できない</li> <li>どんな支援が必要とされているかわからない</li> <li>高齢者が増加しているが、支援の担い手がいない。民生委員・児童委員の後継者の推薦が年々難しくなっている。</li> <li>民生委員・児童委員等の地域の役割に関して負担の軽減についての意見がある。</li> </ul>

**5 予算等の推移**

※当初予算。骨格予算の年度は6月補正後

区分		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
予算額の内訳	関連事業本数	10				
	関連事業予算額(単位:千円)	134,426				
	国庫支出金	0				
	県支出金	600				
	地方債	0				
	その他	14,885				
	一般財源	118,941				

(1)目標達成度(目標値との比較)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 目標より高い実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より高い実績値だった <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおりの実績値だった <input type="checkbox"/> どちらかといえば目標より低い実績値だった <input type="checkbox"/> 目標より低い実績値だった		・成果指標①「地域で見守り、声かけなどの助けあいが行われていると感じる市民の割合」は、後期基本計画の新たな指標で、最終目標値を50%に設定している。令和元年度の実測値は、40.5%だった。 ・成果指標②「民生委員・児童委員の充足率」は100%を維持している。
(2)時系列比較(どのように変化してきたか)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した <input type="checkbox"/> 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) <input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した <input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した		・成果指標①「地域で見守り、声かけなどの助けあいが行われていると感じる市民の割合」は、前年度よりも3.6ポイント上回っている。成果指標②「民生委員・児童委員の充足率」は、昨年度一斉改選があったが、100%を維持している。
(3)他団体比較(近隣他市、県・国との比較など)		※背景・要因と考えられること(根拠となる実績値、判断理由など)
<input type="checkbox"/> かなり高い成果水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い成果水準である <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ同水準である <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い成果水準である <input type="checkbox"/> かなり低い成果水準である		・北杜市地域福祉計画市民アンケート(平成28年7月実施)結果によると、「地域内で何らかの手助け(安否確認の声かけ、話し相手等)をしている人の割合」が41.1%だった。 ・平成29年度の民生委員・児童委員の充足率は全国は97.3%、山梨県は99.7%で、本市では合併後から継続して充足率100%を維持している。民生委員・児童委員は自治会から推薦されるが、福祉の担い手として、民生委員・児童委員の必要性、重要性等が地域に理解されていると考えられる。

7 基本計画期間における施策方針

(1)施策の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが役割を持ち、お互いに支えあっていくことができる地域共生社会を目指す。</li> <li>・地域の中での見守りや支えあう体制づくりを推進する。</li> <li>・各種団体や関係機関と連携を図り、地域の現状や課題を共有し、課題解決にむけた取り組みを推進する。</li> </ul>

8 施策の目標達成のための基本事業の今年度(R2年度)の取組(事務事業)状況・今後の課題と次年度(R3年度)の方針

基本事業	今年度(R2)の取組(事務事業)状況及び今後の課題	次年度(R3)の方針
1 支えあい体制の充実	【取り組み】 ・避難行動要支援者名簿登録の周知と推進 ・子ども若者ささえ愛基金による活動支援 ・民生委員児童委員への活動支援 【課題】 ・避難行動要支援者名簿登録者の支援員(近隣住民3人)への活動支援	・避難行動要支援者名簿登録の周知と推進 ・子ども若者ささえ愛基金による活動支援 ・民生委員児童委員への活動支援
2 地域の福祉課題の共有と取り組み	【取り組み】 ・コミュニティソーシャルワーカー配置事業(社協委託) ・地域福祉施策推進会議の開催 ・子ども若者ささえ愛基金事業によるネットワーク会議の開催 【課題】 ・コミュニティソーシャルワーカーの相談業務は高齢者、生活困窮者の割合が多い。地域全体の課題を整理するために、子どもを取り巻く地域課題の把握も必要である。	・コミュニティソーシャルワーカー配置事業(社協委託) ・地域福祉施策推進会議の開催 ・子ども若者ささえ愛基金事業のネットワーク会議の開催
3		
4		
5		